

# 平成 26 年度（2014 年度）梅花中学校・高等学校 学校評価

## 1. めざす学校像

- (1) 建学の精神に従い、キリスト教主義のもと、他者への愛と奉仕の精神を備える自立した女性を育成する。
- (2) 多様な価値観を認めて隣人と連帯する意欲を持つ女性を育てる。
- (3) のびやかな感性を養い、調和のとれた知性を持って社会に適合し、社会に貢献できる女性を育てる。

## 2. 中間的目標（昨年度からの重点課題について）

### 1、生徒指導充実のため、更なる教員のスキルアップ

- (1) 全校生徒を対象、学校評価アンケートの実施
- (2) 新人教員育成制度の導入

### 2、ICT 教育の推進

- (1) ICT 機材を用いた授業研究の推進
- (2) ICT 環境の整備

### 3、危機管理の徹底

- (1) 火災・防災訓練の強化
- (2) 不審者進入防止・侵入時の危機管理マニュアルの改訂
- (3) 災害時の危機管理マニュアルの作成
- (4) 災害時の食料等の備蓄

### 4、カウンセリング体制の強化

- (1) スクールカウンセラーの常駐化
- (2) スクールカウンセラーとの連携強化

### 5、財務状況の共有化

- (1) 財務説明会の実施
- (2) コスト意識の改善

## 3. 学校評価の結果と分析

### 【生徒による学校評価の結果（別表 1）・分析】

・各教科担当およびクラス担任に関して 4 段階（そう思う(4 点)・だいたいそう思う(3 点)・あまり思わない(2 点)・思わない(1 点)) でアンケートに回答を求めた。各項目別に中学・高校の平均値を算出し、評価とした。

授業担当者および担任には、クラスごと個人平均値と中学・高校全体の平均値を通知した。すべての項目において高校生の評価が 0.01～0.27 ポイント中学生の評価を上回った。中学生の評価が厳しい傾向がうかがわれた。項目ごとでは、生徒への公平な接し方、言葉遣いや振る舞い、教室への移動、朝の礼拝指導など基本的な行動については比較的良い評価であったが、興味がわく工夫や授業改善、「建学の精神」や「スクールモットー」に触れる時間などは、厳しい評価を全体では受けている。個々の担当者の結果では平均値と比較してばらつきがあり、低い場合には個別に面談を実施し改善点を確認した。

#### 【専任教員による自己評価の結果（別表2）・分析】

昨年度と同様に、学校運営15項目・教育内容14項目・生徒指導支援6項目・教員研修資質向上5項目を設定し、項目ごとに、「A：よくあてはまる」「B：ややあてはまる」「C：あまりあてはまらない」「D：まったくあてはまらない」の4段階で自己評価を行った。集計は、それぞれの評価を、Aを4点、Bを3点、Cを2点、Dを1点として、各項目の得点の平均値を算出した。集計結果から前回調査以後、改善された点、対応が必要な点などを洗い出し、今後の改善目標を明らかにした。

今年度の全項目の平均値は2.956となり、昨年の2.877を0.079上回った。平均が高い評価の観点として、「教育課程」、「情報公開」、「教育内容のその他（読書推進、部活動、学校行事、スポーツ芸術文化）」、「生徒指導」があげられる。直接、生徒の教育活動に関わる部分での評価が高い。逆に評価が低かった観点は、「教職員の連携」、「教員研修」があげられる。これらの項目が改善されることで、生徒への教育活動がさらに活発になると考えられることから、新たな今後の重点課題としたい。昨年から昨年度との比較では、増加したものの、すなわち改善の傾向にある項目は、40項目中29項目あった。特に改善が図られたものは、①「カウンセリング体制」、②「家族との連携状況」、③「危機管理対策状況」が上げられる。逆に減少したものは、①「環境問題意識向上」、②「会議の有用性」、③「健康・食育」に関する指導があげられる。

#### 4. 学校関係者評価委員会からの意見 平成27年8月4日実施

(委員) 校長・副校長・PTA会長・地域郵便局長・学園監事・学園総務部長

##### 【平成26年度実施の生徒評価について】

- ・「チャイムと同時に教室に来ている」の部分で評価が低いことが気になる。
- ・生徒評価では生徒の先生に対する好き嫌いが大きく影響するのではないかと。
- ・「スクールモットー・建学の精神に関する」評価が低いことが気になる。私学の教員として常に意識し生徒へ伝えて欲しい。
- ・「公平に生徒に接している」ことに対し評価が高いことは望ましいと思う。また、「わからないときには気軽に質問ができる」ことに評価が高いことも良いことと思う。

##### 【平成26年度実施の教員自己評価について】

- ・ホームページの活用状況に対して評価が高い事はよいが、評議員会の理解が低いことが気になった。
- ・校外研修の評価が低いことが気になる。
- ・職員朝礼はあるのか。また、職員会議はどうされているのか。
- ・子供の数が減り、女子校はしんどい学校が多いと聞くがどうか。
- ・茶髪の生徒などはいないか。以前はひどい生徒もいたようで、同窓会でも話題になったが、今は良くなって、しっかり生活指導がなされているように思う。
- ・経営努力についての評価が入っていないのはどうかと思う。
- ・修学旅行を国内と海外に分けることは、危機管理上必要と考える。

【本年度の取り組み内容および自己評価】

中間的 目標	今年度の 重点目標	具体的な取り組み 計画・内容	評価 指標  進捗	自己評価
1. 教員 スキル アップ	(1) 生徒対象に学 校評価アンケート を実施  (2) 新人教員育成 制度の導入を 検討・実施	(1) ア、1学期末第1回アンケートを実施 イ、結果・集計を教員へ通知 必要に応じて管理職面接を実施 個々現状を把握し改善点を見つけ スキルアップをはかる ウ、年度末に2回目のアンケートを実施 改善状況の確認を行う  (2) ア、具体案を検討 イ、教員への告知し共通理解を得る ウ、個々の次年度目標を提出	イ、までを実施済 み  ・前回のアンケートと 比較し、全教員の 評価平均値が向 上  ア、の具体案を検 討中 ・教員研修自己評 価アンケートで AB の 割合を 70%以上 にする	教員研修面は、 項目全体から見れ ば評価は低い が、昨年からは改善傾 向が見られる。  継続して重点項目 とする。
2. ICT 教育の 推進	(1) ICT 機材を用 いた授業研究 の推進  (2) ICT 環境の整 備	(1) ア、プロジェクトチームを結成し、委 員が中心に情報収集・校外研修に 参加する イ、委員が校内で研究授業を実施し、 全教員へ普及を図る。 (2) プロジェクタ、電子黒板、書画カメラ 等を備えた教室を増やす。	(1) ア、実施済 イ、計画中  (2) 自己評価アンケートで AB の割合を 80%以上にする	新たに重点項目と する。  自己評価アンケートに 項目を追加し、次 年度評価を行う
3. 危 機 管理 の 徹 底	(1) 火災・防災訓 練の強化 (2) 不審者への対 応マニュアル の改訂  (3) 災害への対応 マニュアルを 設定  (4) 食料等の備蓄	(1) 年2回の訓練を学期ごとに3回 実施する。 (2) ア、校務分掌の変更など整理し、現行 の対応マニュアルの見直しを実施 する イ、マニュアルを教職員で共有化し対 応できるよう訓練等を実施  (3) ア、学園レベルでの危機管理マニユ アルを策定 イ、マニュアルを教職員で共有化し 対応できるよう訓練等を実施  (4) 非常食・水を3年間かけ全校生分 を備蓄する（2013年度から継続 中）	今年度2回実施  (2) 見直し中  (3) 策定中  高1・2 済 高3 発注準備  ・危機管理自己評 価アンケートで AB の 割合を 80%以上 にする	昨年より改善して いる。 平均値に近い評価 を受けている  継続して重点項目 とする。

<p>4. カ ウ ン セ リ ン グ 強 化</p>	<p>(1) スクールカウンセラーの常駐化  (2) 連携強化</p>	<p>(1) スクールカウンセラー週5日間の常駐化を図る  (2) ア、カウンセラーと教員との懇談を定期的に実施 イ、講演会等の教職員研修を実施</p>	<p>(1) 実施予定 (2) ア、実施予定 イ、検討中  ・カウンセリング体制自己評価アンケートでABの割合を80以上にする</p>	<p>昨年比で最も評価が高くなった観点である。</p>
<p>5. 財 務 状 況 の 共 有 化</p>	<p>(1) 財務説明会の実施  (2) コスト意識の改善</p>	<p>(1) 職員会議での財務説明会を実施  (2) ア、職員会議での節電等の注意呼びかけ イ、蛍光灯からLEDへの入れ替え  (3) 自己評価で評価の低かった、評議員・理事会機能の理解を深めるため職員会議で報告を定期的に行う</p>	<p>耐震補強工事にあわせ一部実施済  ・財務関係自己評価アンケートでABの割合を70%以上にする</p>	<p>昨年より改善しているが、評価の低い観点である。  継続して重点項目とする。</p>